

2022年各社の戦略

タカラスタANDARD株式会社



代表取締役社長
渡辺 岳夫 氏

明けましておめでとうございます。長期化するコロナ禍は、世界経済にも様々な影響を与えつつ新たな局面に入ってきました。世界的規模での各素材の不足・資材の高騰など製造業を取り巻く急激な経営環境の変化は予断を許さない状況となっています。国内においては、ワクチン接種拡大・新規感染者減少から経済活動も再開しつつある中、住宅市場においては、新築市場は年間約90万戸、リフォーム市場は約6兆5千億円規模と好調に推移しています。今後、リフォーム市場については安定した推移が見込まれる一方で、新築市場は本格的減少局面となり住宅市場全体としては縮小傾向が強まり、企業間競争は更に激化、本格的な淘汰の時代に突入すると思われま

す。当社は創業以来「ホーロー」にこだわり「ホーロー」を進化させ、商品を進化させてまいりました。「ホーローを通じて、より多くの人が快適で、きれいな暮らしを楽しめるようお手伝いさせていただきたい」という当社の想いを実現するため、これからも独自の「ホーロー」技術を更に磨き、お客様から「ホーローを使ってみよう」と思っただけよう、魅力ある商品づくりを進めてまいります。

環境変化へ「情熱」と「危機感」をもって変革に挑んでまいります。2022年にタカラスタANDARDは創業110年を迎えますが、当社を取り巻く環境変化に対して新たな挑戦と変革が必要となる中、2021年「タカラ中期経営計画2023」を策定しました。キーワードは「拡大よりも変革を優先」し、「改革」「挑戦」「進化」の基本戦略を掲げた3カ年計画として企業体質の強化を推進してまいります。コロナ禍の約2年間でこれまでの「当たり前の企業活動」が制限される中、WEBやオンライン活用・デジタル化により「働き方改革」が一気に進み「時間の有効活用」「生産性の向上」への取り組みの大きなターニングポイントとなりました。「新中計」では、各部門でのDX化を更に進め、生産・物流・営業、それぞれの部門での生産性向上を図り、収益構造改革と新たな事業の創出とともに研究開発・生産技術の進化に挑戦してまいります。また、業界最多を誇るショールームにおいては「お客様満足度NO1」を目指し、魅力あるショールームづくりとWEBコンテンツの充実を推進し流通の皆様・お取引業者様と「三位一体の連携強化」を図り、皆様とともに「売上づくり」に取り組んでまいります。

創業110年「中期経営計画2023」へのチャレンジ

環境変化へ「情熱」と「危機感」をもって変革に挑んでまいります。

2022年にタカラスタANDARDは創業110年を迎えますが、当社を取り巻く環境変化に対して新たな挑戦と変革が必要となる中、2021年「タカラ中期経営計画2023」を策定しました。キーワードは「拡大よりも変革を優先」し、「改革」「挑戦」「進化」の基本戦略を掲げた3カ年計画として企業体質の強化を推進してまいります。コロナ禍の約2年間でこれまでの「当たり前の企業活動」が制限される中、WEBやオンライン活用・デジタル化により「働き方改革」が一気に進み「時間の有効活用」「生産性の向上」への取り組みの大きなターニングポイントとなりました。「新中計」では、各部門でのDX化を更に進め、生産・物流・営業、それぞれの部門での生産性向上を図り、収益構造改革と新たな事業の創出とともに研究開発・生産技術の進化に挑戦してまいります。また、業界最多を誇るショールームにおいては「お客様満足度NO1」を目指し、魅力あるショールームづくりとWEBコンテンツの充実を推進し流通の皆様・お取引業者様と「三位一体の連携強化」を図り、皆様とともに「売上づくり」に取り組んでまいります。

「新中計」では、各部門でのDX化を更に進め、生産・物流・営業、それぞれの部門での生産性向上を図り、収益構造改革と新たな事業の創出とともに研究開発・生産技術の進化に挑戦してまいります。また、業界最多を誇るショールームにおいては「お客様満足度NO1」を目指し、魅力あるショールームづくりとWEBコンテンツの充実を推進し流通の皆様・お取引業者様と「三位一体の連携強化」を図り、皆様とともに「売上づくり」に取り組んでまいります。



デュポン・スタイロ株式会社



代表取締役社長
有友 完 氏

明けましておめでとうございます。早くも丸二年が経とうとしているコロナ禍ですが、日本はワクチン接種も先進国中トップレベルの接種率を達成し、在宅勤務率は減少しつつあります。一方でリモート環境でのデジタル化対応も十分に進み、ニューノーマルとして在宅環境では大きな前進が見られました。しかしながら新種株の心配もぬぐい切れない状況のため、フレキシブルな生活が出来るよう、住宅の果たす役割が従来に比べますます大きくなりつつあると考えます。

コロナ禍の影響以外では地球温暖化対策が世界的なテーマになっており、日本もCOP26会議にて重要な効果を出すリーダーシップに期待、注目されているのは記憶に新しいところです。そのような日本特有の気候対応や耐震ニーズを備えながら、過ごしやすい高機能断熱住宅で新しい期待にお応えするべく、弊社は高性能断熱材を中心として、省エネ・快適・健康増進を実現する建材をご提供してまいりました。

同時に建設工事現場での人手不足対応で、工数削減に役立つ断熱工法やプレカット製品のご提案により、付加価値の高い住宅、建築物の普及促進に貢献してまいります。

高機能断熱材の普及促進

弊社では、住宅用途を建材ニーズでの重要な市場の一つとして、押出泡ポリスチレン断熱材の「スタイロフォーム™」で、高まる省エネルギー要求、住みやすい住環境の取り組みにお応えすべく、高性能製品の推進を引き続き行ってまいります。

例えば、高機能断熱グレードの「スタイロフォームFG」「スタイロフォームHP」は、従来以上の断熱住宅環境が求められるZEH、HEAT20高基準仕様に最適な対応が出来る製品です。

また、環境問題がクローズアップされる昨今、スタイロフォームは端材などをリサイクルポリスチレン原料として回収し使われており、エコに寄与する製品です。また、付加価値として施工の合理化や省力化を実現する壁工法「スタイロタック」や、大規模木造にも対応した「床用フルプレカット」などにも引き続き注力します。

不安定要素が多い昨今ですが、安定供給体制を維持し、安心安全の機能製品をお届けいたします。

今年も、皆様に信頼していただけるメーカー活動を継続することをお約束いたします。

スタイロフォームがバージョンアップ **スタイロフォームFG**

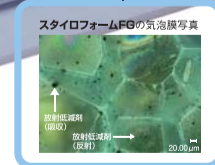
JIS A 9521 : 2017 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bD

熱伝導率: 0.022 W/m・K以下

Fランク断熱材

- 従来の「スタイロフォーム」の優れた性能を継承
- ノンフロン・ノンホルムアルデヒド・PFR物質※不使用
- 既存製品の20%の厚み低減が可能
- マテリアルリサイクル可能
- グリーン購入法特定調達品目(断熱材)適合

※PFR物質: 有害性が疑われる化学物質、トルエン・キシレン・エチルベンゼン等



デュポン・スタイロ株式会社 本社/〒100-6111東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー
フリーダイヤル/0120-113210 (イミズイロ)

<https://www.dupontstyro.co.jp/>

デュポン、デュポンオーバールマーク、並びに™、®、及び◎表示のあるすべての商標は、米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。